

## 「一オメルのマナの養い」 出エジプト記 16 章 1-18 節

2023.3.26

### ●アウトライン

1. 不平を聞かれる神
  - ・ 出エジプト物語の構成。①「救い編」②「荒れ野編」③「カナン入場編」
  - ・ 過去を美化し、不平不満を述べるイスラエルの民
  - ・ 不平にも関わらず、恵みを注いでくださる神
2. 一オメルのマナの養い
  - ・ 荒れ野におけるマナとうずら
  - ・ 「オメル升で量ってみると、……それぞれが必要な分を集めた。」(18 節)
  - ・ 今日もこの日の糧を与えてくださる神
  - ・ 必要なものを、必要な分だけ。しかし、永遠に養ってくださる。
3. 人はパンだけで生きるのではなく
  - ・ 神が日ごとのマナの養いという方法をとられた理由
  - ・ 命のパンである神の言葉によって生きる私たち
  - ・ 今やイエス・キリストを通して。個人礼拝、主の日の礼拝（御言葉の説教と聖餐式）で。

### ●聖書箇所

#### 【申命記 8 章 2-6 節、旧約 294 ページ】

「あなたの神、主が導かれたこの四十年の荒れ野の旅を思い起こしなさい。こうして主はあなたを苦しめて試し、あなたの心にあること、すなわち御自分の戒めを守るかどうかを知ろうとされた。主はあなたを苦しめ、飢えさせ、あなたも先祖も味わったことのないマナを食べさせられた。人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きることをあなたに知らせるためであった。この四十年の間、あなたのまとう着物は古びず、足がはれることもなかった。あなたは、人が自分の子を訓練するように、あなたの神、主があなたを訓練されることを心に留めなさい。あなたの神、主の戒めを守り、主の道を歩み、彼を畏れなさい。」

#### 【ヨハネによる福音書 6 章 48-51 節、新約 176 ページ】

「わたしは命のパンである。あなたたちの先祖は荒れ野でマンナを食べたが、死んでしまった。しかし、これは、天から降って来たパンであり、これを食べる者は死なない。わたしは、天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。わたしが与えるパンとは、世を生かすためのわたしの肉のことである。」